

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎講座9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	2年	1期	王 瑞霞		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
科目テーマ: 漢方薬概論 日本でよく使われている漢方薬処方を利用目的に応じてそれぞれのテーマを設け、個々の処方の効能効果や使い方を学習する。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		鍼灸師として高度の患者対応力・臨床力を養うために、日本でよく使われる漢方薬処方を学ぶ。その学ぶ過程を通じて、東洋医学基礎並びに臨床理論に対して理解を深める。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		・漢方薬の考え方、処方構成の原則や常用処方の概要を説明できる。 ・疾患別及び証型別漢方処方の効能効果、適応対象の説明ができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
東洋医学基礎理論							
教科書・参考書							
東洋医学概論、東洋医学臨床論							
受講上の注意							
これまで習った東洋医学基礎知識とリンクすることを意識して受講に臨んでほしい。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	基礎講座9ガイダンス 漢方薬概要: 漢方薬の歴史、漢方薬処方構成原則、その他				筆記用具 配布資料		
第2回	頭痛・肩こりに用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第3回	風邪に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第4回	胃腸疾患に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第5回	ストレス・不眠症に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第6回	冷え症に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第7回	婦人科疾患に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第8回	腰痛や神経痛に用いる漢方薬				筆記用具 配布資料		
第9回	免疫力を高める漢方薬				筆記用具 配布資料		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
日本の漢方薬専門薬局にて10年以上実務経験があり、日本の漢方専門医との交流もあるため、それらの経験を踏まえて講義する。							
メールアドレス							
oh@nihonisen.ac.jp							